



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月10日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL http://fantasy.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括兼リスク (氏名) 新田 悟 TEL 043 (212) 6203
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	52,706	11.4	3,544	83.4	3,218	83.7	1,365	106.0
29年2月期第3四半期	47,312	12.3	1,933	74.8	1,751	109.9	662	167.9

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 1,598百万円 (330.4%) 29年2月期第3四半期 371百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	69.29	69.05
29年2月期第3四半期	33.65	33.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	46,746	26,852	56.2
29年2月期	43,328	25,619	58.4

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 26,254百万円 29年2月期 24,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	15.00	—	16.00	31.00
30年2月期	—	16.00	—		
30年2月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	7.6	5,000	32.6	4,550	30.1	2,150	26.6	109.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1 社（社名）AEON FANTASY VIETNAM CO., LTD.、除外 1 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	19,713,825株	29年2月期	19,713,825株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	6,342株	29年2月期	10,524株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	19,707,488株	29年2月期3Q	19,697,511株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は2017年4月12日に中期経営計画(2017年度～2019年度)を発表し、ビジョンを「遊びを通じて、“家族の笑顔”“憩い”そして“子どもの健やかな成長”を提供するファミリーエンターテインメント企業」と再設定いたしました。2018年2月期は、その計画を達成すべく成長拡大に向け取り組んでおります。

2018年2月期第3四半期連結累計期間(2017年3月1日～11月30日)は、国内事業において好調部門の更なる拡充を図るとともに、店舗活性化の推進に取り組みました。また、海外事業においても新規出店を推進する一方、国内、海外ともに不採算店舗の閉店を実施いたしました。これにより2017年11月末の店舗数は、国内470店舗、海外366店舗の合計836店舗(直営店825店舗、F C等11店舗)となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、国内既存店が好調に推移していることや、海外事業の出店による売上拡大により、売上高は527億6百万円(前年同期比11.4%増)と同期間では過去最高となりました。営業利益は35億44百万円(同83.4%増)、経常利益は32億18百万円(同83.7%増)といずれも同期間では2007年2月期以来11年ぶりの過去最高となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億65百万円(同106.0%増)となり計画を大きく上回る推移をしております。

(国内事業)

国内事業は、遊戯機械売上の既存店伸び率が、当第3四半期連結累計期間で11.3%増となり、2015年9月より27ヶ月連続でプラスとなりました。部門別ではプライズ部門が既存店伸び率21.0%増と、引き続き2桁伸長を維持しております。これは、当社限定のオリジナル景品の導入拡大や、昨年より積極的に取り組んでいるWeb販促

(YouTube、Twitter、Facebook、自社アプリ等)による効果が大きく、特にYouTuberによる当社独自の企画やオリジナル景品・オリジナル機械を紹介する動画が、累計再生回数5,300万回を超えるなど、集客プロモーションとして大きく貢献しております。また、メダル部門も定期的実施しているイベントの定着などにより堅調に推移し、既存店伸び率が8.0%増と好調を維持しております。

当第3四半期連結累計期間は8店舗の新規出店と、36店舗の店舗活性化を実施いたしました。活性化店舗の売上高は前年比14.2%増と着実にその効果が現れております。

以上の結果、国内事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高435億95百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益36億36百万円(同66.1%増)となりました。

(中国事業)

中国事業は、当第3四半期連結累計期間に26店舗の新規出店を行いました。売上指数が低い第3四半期連結会計期間は構造上営業損失となっておりますが、通年では計画通りの着地となる見通しです。

アプリ会員システムの会員数は11月末で約125万人と順調に増加しており、アプリ経由の売上高は全体売上の43%となっています。

以上の結果、中国事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高61億1百万円(前年同期比24.1%増)、営業損失66百万円(前年同期差45百万円改善)となりました。

(アセアン事業)

アセアン事業は、当第3四半期連結累計期間に26店舗の新規出店を行いました。マレーシアは当第3四半期連結累計期間の売上高既存店伸び率が10.1%増と好調を維持しており、営業利益も大幅に増益となっております。また、フィリピン、インドネシアとともに第3四半期連結累計期間としては初めて営業利益の黒字化を達成いたしました。タイは既存店売上が回復しており、当第3四半期連結会計期間では営業損失が前年から改善いたしました。また、新会社を設立したベトナムにおいては、イオンベトナムからホーチミンの6店舗を譲り受け営業を開始いたしました。

以上の結果、アセアン事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高32億32百万円(前年同期比39.1%増)、営業損失21百万円(前年同期差1億21百万円改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、108億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億45百万円減少いたしました。主な内訳は、現金及び預金の増加(3億32百万円)、売上預け金の増加(4億80百万円)、たな卸資産の増加(2億8百万円)、関係会社寄託金の減少(19億円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、359億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億63百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化に伴う遊戯機械の増加(21億17百万円)、建物の増加(11億24百万円)であります。

この結果、総資産は467億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億17百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、128億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億52百万円増加いたしました。主な内訳は、買掛金の増加(7億74百万円)、設備関係支払手形の増加(8億26百万円)であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、70億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億32百万円増加いたしました。主な内訳は、海外子会社における長期借入金の増加(2億16百万円)であります。

この結果、負債合計は198億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億84百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、268億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億32百万円増加いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(13億65百万円)、非支配株主持分の増加(2億36百万円)、為替の変動に伴う為替換算調整勘定の増加(2億16百万円)、であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,542,223	4,875,121
売掛金	303,932	202,736
売上預け金	586,008	1,066,969
たな卸資産	2,227,341	2,435,758
関係会社寄託金	1,900,000	-
その他	1,700,109	2,233,451
流動資産合計	11,259,614	10,814,038
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,762,179	7,886,447
遊戯機械(純額)	17,407,579	19,525,485
その他(純額)	1,871,638	2,145,581
有形固定資産合計	26,041,397	29,557,514
無形固定資産		
のれん	180,482	337,098
ソフトウェア	569,028	604,359
その他	5,670	4,302
無形固定資産合計	755,181	945,759
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	3,942,039	4,055,824
その他	1,330,492	1,373,203
投資その他の資産合計	5,272,532	5,429,027
固定資産合計	32,069,111	35,932,302
資産合計	43,328,726	46,746,340

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,054,281	1,828,314
1年内返済予定の長期借入金	1,143,140	707,365
未払費用	1,798,355	2,545,286
未払法人税等	1,126,675	1,028,645
賞与引当金	370,541	669,058
役員業績報酬引当金	77,001	87,518
閉店損失引当金	25,570	22,171
設備関係支払手形	1,574,250	2,400,342
その他	3,831,106	3,564,614
流動負債合計	11,000,924	12,853,316
固定負債		
長期借入金	5,488,432	5,705,349
退職給付に係る負債	285,865	269,996
資産除去債務	460,447	483,528
その他	473,198	581,496
固定負債合計	6,707,944	7,040,371
負債合計	17,708,868	19,893,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	4,773,715	4,770,075
利益剰余金	19,159,207	19,894,261
自己株式	△17,035	△11,063
株主資本合計	25,663,026	26,400,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,047	23,789
為替換算調整勘定	△251,179	△34,240
退職給付に係る調整累計額	△150,064	△135,099
その他の包括利益累計額合計	△377,197	△145,550
新株予約権	94,436	121,670
非支配株主持分	239,591	476,120
純資産合計	25,619,857	26,852,652
負債純資産合計	43,328,726	46,746,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	47,312,594	52,706,659
売上原価	42,291,762	45,548,254
売上総利益	5,020,832	7,158,405
販売費及び一般管理費	3,087,729	3,613,462
営業利益	1,933,102	3,544,942
営業外収益		
受取利息	31,172	26,321
為替差益	-	330
固定資産売却益	9,954	7,012
預り金受入益	-	64,038
その他	32,558	37,828
営業外収益合計	73,685	135,532
営業外費用		
支払利息	178,757	200,099
為替差損	21,082	-
固定資産売却損	28,733	229,577
その他	26,261	32,323
営業外費用合計	254,834	462,000
経常利益	1,751,952	3,218,474
特別利益		
受取保険金	48,971	-
特別利益合計	48,971	-
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	52,187	22,171
減損損失	115,190	374,418
災害による損失	28,017	-
店舗閉鎖損失	54,823	66,174
特別損失合計	250,219	462,763
税金等調整前四半期純利益	1,550,705	2,755,710
法人税、住民税及び事業税	1,259,643	1,581,993
法人税等調整額	△373,963	△174,521
法人税等合計	885,679	1,407,472
四半期純利益	665,025	1,348,238
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,190	△17,390
親会社株主に帰属する四半期純利益	662,835	1,365,629

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	665,025	1,348,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△346	△257
為替換算調整勘定	△305,700	235,696
退職給付に係る調整額	12,426	14,965
その他の包括利益合計	△293,620	250,405
四半期包括利益	371,405	1,598,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,021	1,597,276
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,616	1,367

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結累計期間において、AEON FANTASY VIETNAM CO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、AEON FANTASY VIETNAM CO., LTD. は当社の特定子会社に該当しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,071,655	4,916,490	2,324,448	47,312,594	-	47,312,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△1,646	-	-	△1,646	1,646	-
計	40,070,008	4,916,490	2,324,448	47,310,947	1,646	47,312,594
セグメント利益又は損失 (△)	2,189,112	△112,501	△143,508	1,933,102	-	1,933,102

(注) 調整額はセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント19,267千円、「中国」セグメント40,459千円、「アセアン」セグメント55,463千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,372,334	6,101,945	3,232,379	52,706,659	-	52,706,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	222,901	-	-	222,901	△222,901	-
計	43,595,235	6,101,945	3,232,379	52,929,560	△222,901	52,706,659
セグメント利益又は損失 (△)	3,636,689	△66,767	△21,542	3,548,379	△3,437	3,544,942

(注) 調整額はセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「中国事業」「アセアン事業」の組織体制を変更したことに伴い報告セグメントを従来の「海外事業」セグメントから、「中国事業」及び「アセアン事業」のセグメントに区分しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「国内」セグメント43,538千円、「中国」セグメント122,176千円、「アセアン」セグメント208,703千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。